

令和 5 年度

事業報告書及び決算書

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 中山道広重美術館

目 次

第1号議案 令和5年度 事業報告書及び附属明細書

1 事業概要	2
2 理事会に関する事項.....	6
3 評議員会に関する事項	7
4 登記事項	7
5 役員に関する事項	7
6 評議員に関する事項	8
7 職員に関する事項	8
8 附属明細書.....	8

第2号議案 令和5年度 決算書（財務諸表）

1 貸借対照表	1 0
2 正味財産増減計算書	1 1
3 財務諸表に対する注記	1 5
4 附属明細書	1 6
5 財産目録	1 9
6 監査報告書	2 0

第1号議案

令和5年度 事業報告書

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日

公益財団法人 中山道広重美術館

I 事業報告

1 事業概要

当公益財団法人は、恵那市から中山道広重美術館の指定管理業務を受託して9年目を迎え、歌川広重の作品を中心とする質の高い浮世絵版木の展示や体験・学習などの仕組みを通して、来館者により大きな感動と満足感を持ち帰っていただけるよう努めた。

館の運営面では、まず、歌川広重の研究者としての実績があり、令和4年4月から嘱託職員として係長不在の学芸業務を支えてきた常包美穂学芸員を8月1日から財団職員の学芸係長に迎え、本来あるべき体制を整えることができた。

収蔵作品では、恵那市ふるさと応援寄付金を活用し、広重最晩年の大作雪月花3部作のうち、雪に当たる地元ゆかりの「木曾路之山川」を購入することができた。

地元の企業に観覧料相当額をご負担をいただき、観覧者の入館料を無料とするスポンサー制度は、去年から新たに始まった毎週水曜日の観覧料を無料とするフリーウエズデーが新規1社、継続2社で2期目に入り、また、毎週金曜日の観覧料を無料とするフリーフライデーも、これまで通り3社の応募があり、10月には7年目を迎えることができた。このように大変厳しい経営状況の中でも6企業様からご支援をいただくことができ、水曜日と金曜日の観覧入場者は5,225人と、総観覧入場者数の約34.6%を占めた。

展示事業は、8つの展覧会を企画した。春季特別企画展として、大衆メディアとして江戸庶民の目を楽しませ、西洋文化を受容した幕末以降、さらに幅広い表現形式による多種多様な画題を展開していく浮世絵を紹介する「幕末明治の浮世絵百年 大江戸の賑わい」を開催した。秋季特別企画展では、風景画の名手である歌川広重の画業の根幹とされる「写真（しょううつし）」（写生）をテーマに取り上げた「広重翁－晩年の画業と「写真（しょううつし）」」を開催し、晩年における広重の風景画の核心に迫った。

教育普及事業では、「江戸庶民の遊びと楽しみ」と題した連続6講座を開催した。また、第20回こども版画コンクールを市内各学校の協力を得て開催。版画制作の授業に応援講師を派遣する制度では、要請のあったこども園3園と小学校2校へ、延べ10日、延べ16人の版画経験講師を派遣し、こども園、小・中学校、特別支援学校から2,294点の作品応募があった。

収益事業では、来館者の増加に加えて、本格的な復刻版画や展示内容や季節に合わせた商品、大手通販会社「フェリシモ」とのコラボによる「広重おじさん」関連商品などが好評で、令和4年度を上回る売上があった。

そのほか、歌川広重の浮世絵を収蔵する館同士として、1年前から交流を模索してきたポーランド共和国の日本美術技術博物館マンガと令和6年3月28日に「友好協力協定」を締結し、美術館同士の交流が海外に広がることとなった。

以上、令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類の位置づけとなり、人流が活発化し、海外及び国内の観光客の動きはコロナ前の状況に戻ってきたことなどにより、年間観覧入場者数は、令和4年度を915人上回り15,069人となった。

1. 展示事業

① 特別企画展・特別展観

	事業名	事業概要	開催期間
1	幕末明治の浮世絵百年 大江戸の賑わい	最新の流行やさまざまな情報を伝える大衆メディアとして江戸庶民の目を楽しませ、長きにわたり愛された浮世絵。西洋文化を受容し、さらに幅広い表現形式による多種多様な画題を展開していった幕末から明治の色鮮やかな浮世絵を紹介した。 観覧者数 3,337人	前期 4月6日(木)～5月7日(日) 後期 5月11日(木)～6月18日(日)

2	木曾海道六拾九次之内	当館コレクションの中でも最も美しい揃物「木曾海道六拾九次之内」を全点展示。歌川広重と溪斎英泉が中山道をテーマに描いた世界に誇る優品の年に一度のお披露目を行った。 観覧者数 1,755人	8月31日(木)～10月1日(日)
3	広重翁一晩年の画業と「写真(しょううつし)」	風景画の名手、歌川広重。50代に手掛けた絵手本では「写真(しょううつし)をなして是に筆意を加ふる」と説いており、その画業の根幹には「写真」(写生)があった。本展では晩年の広重風景画の核心に迫った。 観覧者数 3,697人	前期 10月5日(木)～11月5日(日) 後期 11月9日(木)～12月10日(日)

② 企画展

	事業名	事業概要	開催期間
1	うきよえ “う” づくし	歌川広重の手になる魚(うお)づくしと呼ばれる揃いものを中心に、うみ(海)、うお(魚)、うま(馬)など、「う」きよえに描かれた「う」の付くものを紹介した。 観覧者数 1,206人	6月22日(木)～7月23日(日)
2	うたう浮世絵	浮世絵には名所名物を描いたものや美人を描いたものの他にも、説話、物語、芝居などを題材にした作品が数多くある。画中に狂歌や俳諧が記された作品などもあり、浮世絵の中で語られた物語や詠われた歌を読み解きつつ紹介した。 観覧者数 1,384人	7月27日(木)～8月27日(日)
3	ぐるり上方名所めぐり	徳川の世となり、政治の中心は江戸へと移ったものの、依然、文化や経済の中心地としてにぎわった上方。京・大坂の有名スポットはもちろん、「近江八景」(滋賀県)など、見どころ満載の上方名所を紹介した。 観覧者数 832人	12月14日(木)～令和6年 1月21日(日)
4	吉村コレクションー日常を彩る美	当コレクションは恵那市出身の故・吉村トシ子氏の旧蔵品と、寄付金により購入された浮世絵とで構成されている。その中から選りすぐりの名品を紹介した。 観覧者数 866人	1月25日(木)～2月25日(日)
5	お江戸浮世絵プロデューサー	浮世絵版画は、絵師、彫師、摺師の分業制からなる商業出版物。その企画から販売までを統括していた浮世絵制作のプロデューサーともいえる版元たちに注目し、江戸の出版事情を紹介した。 観覧者数 1,911人	2月29日(木)～3月31日(日)
6	令和6年度 実施展覧会の企画準備		
7	令和7年度 企画展に関する調査、研究		

2. 教育普及事業

	事業名	内 容	時 期
1	連続講座（全6回） 江戸庶民の遊びと楽しみ	浮世絵鑑賞の素地となる江戸文化への理解を深めるべく、歌舞伎、相撲、見世物、狂歌、盆栽、愛猫といった多種多様な江戸庶民の趣味や娯楽を取り上げて紹介した。	4/8(土) 倉橋 正恵 氏 5/13(土) 大久保範子 氏 6/10(土) 川添 裕 氏 10/7(土) 小林ふみ子 氏 11/11(土) 田口 文哉 氏 12/9(土) 津田 卓子 氏
2	学芸員実習の受け入れ	学芸員資格取得希望の学生等を対象に、学芸員実習の受け入れを行い、地元地域出身の大学生1人が受講。 (愛知学院大学)	8月16日(水)～20日(日)
3	ミュージアムナイト (夜間開館)	中央通り商店街夏まつりに合わせて午後8時まで開館。終日入館無料とした。	8月14日(月)午後8時まで
4	夏休みイベント	会期中ご来館の18歳以下の方全員に展覧会にちなんだ葉をプレゼント。拡大した浮世絵を背景に自由に撮影ができるスポットを設置。展示作品の中に描かれる「おじさん」を探すゲームを実施。	うたう浮世絵 7月27日(木)～8月27日(日)
5	こども版画コンクール応援 講師の派遣	こども園3園と小学校2校から、こども版画コンクール参加作品制作授業に講師派遣の希望があり、延べ10日、延べ16人の応援講師を派遣した。	9月6・20日、11月8・15 日、12月7・11・13日、1月 10・11・12日
6	第20回恵那市こども版画コ ンクールの開催	自分の住むまちのよさや、ふるさとへの愛着をテーマとして実施。20回記念賞を設置し、SDGs賞も継続した。 応募総数2,294点、特別賞20点、奨励賞28点、入選124点	作品展 2月29日(木)～3月17日(日) 表彰式(広重賞ほか特別賞及び奨励賞) 3月3日(日)

3. その他の事業

1	企業様に観覧料相当の金銭的負担をいただき観覧料を無料とするスポンサー制度は、(株)銀の森コーポレーション、金子建築工業(株)、(株)サラダコスモの3社様で金曜日に、(株)エナ重機、ナカヤマ・グループ、(株)デジタの3社様で水曜日に実施することができた。6期目となる金曜日の1年間の観覧入場者は3,120人、2期目となる水曜日の観覧入場者は2,105人で、スポンサー制度による無料観覧入場者は5,225人となり、総観覧入場者15,069人の約34.7%を占めた。
2	恵那市ふるさと応援寄付金を活用した作品購入(「木曾路之山川」1点、8,800,000円) 財団の美術作品取得資金積立継続(目標額:1,100万円)
3	国内外の美術館、博物館との情報共有や情報交換を通じた連携と交流を行った。歌川広重の浮世絵版画を含む日本美術コレクションを所蔵しているポーランド共和国の日本美術技術博物館マンガと、3月28日に「友好協力協定」を締結した。

4. 収益事業（収益事業等会計）

ミュージアムショップ運営

- (1) 美術館関連商品を販売した。
- (2) 展覧会関係グッズ、図録を販売した。
- (3) オリジナル商品を企画制作し販売した。
- (4) インターネットによるグッズ・図録のネットショップ販売を行った。

5. 管理事業（法人会計）

- 1 理事会・評議員会を適切に運営した。
- 2 公益財団法人を適切に運営した。
- 3 美術館の施設を適切に管理した。

2 理事会に関する事項

会 議 名	開催(議決)年月日	件 名	
第1回理事会	令和5年5月19日	第1号議案	令和4年度事業報告及び附属明細書の承認について
		第2号議案	令和4年度収支決算書の承認について
		第3号議案	事業報告等に係る定期提出書類の承認について
		第4号議案	定時評議員会の招集について
		報告1	職務執行状況の報告について
		協議・報告	①評議員の選任に関する承認について ②定款の一部変更に関する承認について
第2回理事会	令和5年10月11日	第1号議案	令和5年度予算書(10月補正)の承認について
		協議・報告	①役員の職務執行状況及び事業経過諸報告について ②財団職員の採用について ③令和5年度事業計画(案)について ④恵那市ふるさと応援寄付金による作品購入について ⑤中山道広重美術館スポンサー制度の継続について ⑥日本美術技術博物館マンガとの交流について
第3回理事会	令和6年3月8日	第1号議案	公益財団法人中山道広重美術館職員の給与等に関する規程の変更について
		第2号議案	令和5年度補正予算の承認について
		第3号議案	令和6年度事業計画書の承認について
		第4号議案	令和6年度収支予算書の承認について
		第5号議案	令和6年度資金調達及び設備投資に係る見込みについて
		協議・報告	①役員の職務執行状況及び事業経過諸報告について ②次回の理事会の開催と定時評議員会の招集(案)について ③スポンサー制度の申し込みについて ④日本美術技術博物館マンガとの協定について ⑤立入検査の結果について

3 評議員会に関する事項

会 議 名	開催(議決)年月日	件 名	
定時評議員会	令和5年6月9日	報告 1	令和4年度事業報告について
		第1号議案	令和4年度決算書(貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書)の承認について
		第2号議案	評議員の選任に関する承認について
		第3号議案	定款の一部変更に関する承認について
		報 告	①令和5年度事業計画及び収支予算について

4 登記事項

登記原因年月日	申 請 先	事 項	登 記 年 月 日
令和5年6月9日	岐阜地方法務局中津川支局	評議員の氏名の変更	令和5年7月18日

5 役員に関する事項

役職名	人 数	氏 名	就任年月日
理 事 長	1	長谷川 佳 子	平成24年 4月 1日就任
副理事長	1	小 嶋 初 夫	令和 2年 6月 9日就任
専務理事	1	伊 藤 英 晃	令和 4年 6月10日就任
理 事	11	市 川 彰	令和 2年 6月 9日就任
		大 塚 康 芳	平成24年 4月 1日就任
		小 川 智 明	令和 2年 6月 9日就任
		柄 澤 史 枝	令和 4年 6月10日就任
		瀨 瀨 満	平成27年 6月19日就任
		河 野 ほのみ	令和 4年 6月10日就任
		永 谷 茂 美	平成24年 4月 1日就任
		西 部 良 治	令和 2年 6月 9日就任
		長谷川 英 司	平成30年 6月 7日就任
		原 淑 子	平成28年 6月 2日就任
		堀 誠	令和 4年 6月10日就任
監 事	2	柘 植 麻 美	平成24年 4月 1日就任
		村 松 光 則	令和 4年 6月10日就任

6 評議員に関する事項

役職名	人 数	氏 名	就任年月日
評議員	13	阿 部 伸一郎	平成28年 6月 2日就任
		安 藤 俊 幸	平成30年 6月 7日就任
		井 口 英 一	平成24年 4月 1日就任
		市 川 祥 子	平成28年 6月 2日就任
		大 塩 康 彦	平成25年 5月29日就任
		各 務 一 彦	令和 2年 6月 9日就任
		小 板 幸 光	平成28年 6月 2日就任
		後 藤 光 男	令和 4年 6月10日就任
		鈴 木 隆 一	平成26年 6月 6日就任
		中 島 克 子	令和 2年 6月 9日就任
		鈴 村 幸 宣	令和 5年 6月 9日就任
		長 瀬 久美子	令和 5年 6月 9日就任
		槇 島 春 枝	平成24年 4月 1日就任

7 職員に関する事項

区 分	氏 名	担 当	就任年月日	備 考
美術館長 (嘱託・事務局長)	伊 藤 英 晃	統 括	令和4年4月1日	
事務職員	常 包 美 穂	学芸係長	令和4年4月1日	令和5年8月1日学芸係長
嘱託職員	牧 野 直 美	総務係長	平成24年4月1日	
嘱託職員	中 垣 絵 理	学芸員	平成24年4月1日	
嘱託職員	中 村 香 織	学芸員	平成27年1月1日	
嘱託職員	窪 田 聡 美	デザイナー	平成25年4月1日	
嘱託職員	宮 下 真 子	案内・ショップ	令和2年4月1日	
臨時職員	川 口 紗 世	案内・ショップ	令和5年4月1日	
臨時職員	宮 下 真千子	学芸補助	令和5年4月1日	

8 附属明細書

令和5年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。

令和5年度

決 算 書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

公益財団法人 中山道広重美術館

貸 借 対 照 表
令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許保管	161,500	161,500	0
現 金	80,161	17,800	62,361
普通預金	28,851,242	18,455,412	10,395,830
現金預金合計	29,092,903	18,634,712	10,458,191
未収金	500,021	1,199,374	△699,353
立替金	0	35,431	△35,431
貯蔵品	10,005,147	10,654,143	△648,996
他会計貸付金	0	1,386,899	△1,386,899
流動資産合計	39,598,071	31,910,559	7,687,512
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	103,581,700	105,660,500	△2,078,800
美術作品	21,609,164	21,609,164	0
基本財産合計	125,190,864	127,269,664	△2,078,800
(2) 特定資産			
美術作品取得資金	11,000,000	9,500,000	1,500,000
特定資産合計	11,000,000	9,500,000	1,500,000
(3) その他固定資産			
什器備品	1,491,091	853,078	638,013
ソフトウェア	450,000	1,268,709	△818,709
その他固定資産合計	1,941,091	2,121,787	△180,696
固定資産合計	138,131,955	138,891,451	△759,496
資産合計	177,730,026	170,802,010	6,928,016
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,080,160	3,307,239	1,772,921
預り金	374,177	182,581	191,596
前受金	3,000,000	2,250,000	750,000
他会計借入金	0	1,386,899	△1,386,899
流動負債合計	8,454,337	7,126,719	1,327,618
負債合計	8,454,337	7,126,719	1,327,618
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			0
出捐金	103,581,700	105,660,500	△2,078,800
受贈美術作品	530,000	530,000	0
指定正味財産合計	104,111,700	106,190,500	△2,078,800
(うち基本財産への充当額)	(104,111,700)	(106,190,500)	(△2,078,800)
2. 一般正味財産	65,163,989	57,484,791	7,679,198
(うち基本財産への充当額)	(21,079,164)	(21,079,164)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(11,000,000)	(9,500,000)	(1,500,000)
正味財産合計	169,275,689	163,675,291	5,600,398
負債及び正味財産合計	177,730,026	170,802,010	6,928,016

正味財産増減計算書
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,293,000	1,293,000	0
基本財産受取利息	1,293,000	1,293,000	0
事業収益	58,914,325	57,315,777	1,598,548
指定管理事業収益	45,833,333	45,833,333	0
観覧料収益	4,118,740	3,614,380	504,360
美術品撮影料金等収益	211,200	81,780	129,420
図録等販売収益	8,582,052	7,598,284	983,768
グッズ等売上収益	7,148,002	6,138,206	1,009,796
図録販売収益	1,434,050	1,460,078	△ 26,028
講座受講料収益	169,000	188,000	△ 19,000
特定資産運用収益	160	280	△ 120
特定資産受取利息	160	280	△ 120
受取補助金等	3,800,000	3,800,000	0
受取地方公共団体補助金	3,800,000	3,800,000	0
受取負担金	3,000,000	2,500,000	500,000
受取負担金	3,000,000	2,500,000	500,000
受取寄付金	0	700,000	△ 700,000
受取寄付金	0	200,000	△ 200,000
受取寄付金振替額	0	500,000	△ 500,000
雑収益	410,107	378,291	31,816
受取利息	261	243	18
雑収益	409,846	378,048	31,798
経常収益計	67,417,592	65,987,348	1,430,244
(2) 経常費用			
事業費	55,885,628	60,271,758	△ 4,386,130
給料手当	2,263,723	0	2,263,723
任用雇賃金	16,913,026	18,785,339	△ 1,872,313
退職給付費	633,380	624,000	9,380
福利厚生費	3,221,828	3,022,189	199,639
研修費	277,230	206,246	70,984
旅費交通費	244,690	221,500	23,190
通信運搬費	511,072	547,186	△ 36,114
備品購入費	162,901	175,560	△ 12,659
消耗品費	1,592,012	1,247,723	344,289
修繕費	199,650	1,317,360	△ 1,117,710
印刷製本費	2,357,885	2,158,784	199,101
燃料費	12,298	11,037	1,261
光熱水料費	5,254,360	10,302,452	△ 5,048,092
賃借料	1,815,082	1,794,243	20,839
保険料	92,720	47,660	45,060
諸謝金	602,370	566,000	36,370
租税公課	2,891,070	2,459,870	431,200

科 目	当年度	前年度	増減
食糧費	47,178	48,662	△ 1,484
委託費	9,824,346	9,690,897	133,449
広告宣伝費	1,145,100	1,885,400	△ 740,300
手数料	205,051	140,242	64,809
新聞図書費	90,296	34,600	55,696
商品仕入費	4,274,668	3,331,718	942,950
減価償却費	1,172,896	1,544,137	△ 371,241
雑費	80,796	108,953	△ 28,157
管理費	3,852,766	3,913,311	△ 60,545
役員報酬	222,000	210,000	12,000
任用雇賃金	1,213,157	1,145,679	67,478
退職給付費	48,000	48,000	0
福利厚生費	191,494	181,536	9,958
職員研修費	0	36,520	△ 36,520
旅費交通費	24,500	25,580	△ 1,080
通信運搬費	106,200	111,959	△ 5,759
消耗品費	94,352	19,800	74,552
印刷製本費	107,040	128,626	△ 21,586
光熱水料費	340,860	487,310	△ 146,450
賃借料	376,800	393,600	△ 16,800
報酬	413,875	397,012	16,863
支払負担金	72,000	72,000	0
委託費	480,518	523,414	△ 42,896
手数料	133,320	130,405	2,915
租税公課	2,150	0	2,150
雑費	26,500	1,870	24,630
経常費用計	59,738,394	64,185,069	△ 4,446,675
評価損益等調整前当期経常増減額	7,679,198	1,802,279	5,876,919
当期経常増減額	7,679,198	1,802,279	5,876,919
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	7,679,198	1,802,279	5,876,919
一般正味財産期首残高	57,484,791	55,682,512	1,802,279
一般正味財産期末残高	65,163,989	57,484,791	7,679,198
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
固定資産受贈益	0	530,000	△ 530,000
基本財産評価損益等	△ 2,078,800	△ 5,266,300	3,187,500
一般正味財産への振替額	0	△ 500,000	500,000
当期指定正味財産増減額	△ 2,078,800	△ 5,236,300	3,157,500
指定正味財産期首残高	106,190,500	111,426,800	△ 5,236,300
指定正味財産期末残高	104,111,700	106,190,500	△ 2,078,800
Ⅲ 正味財産期末残高	169,275,689	163,675,291	5,600,398

正味財産増減計算書（内訳表）

（単位：円）

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
I 一般正味財産の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用利益	1,293,000				1,293,000
基本財産受取利息	1,293,000				1,293,000
事業収益	51,166,169	9,069,260		△ 1,321,104	58,914,325
指定管理事業収益	45,833,333				45,833,333
観覧料収益	4,118,740				4,118,740
美術品撮影料金等収益	211,200				211,200
図録等販売収益	833,896	9,069,260		△ 1,321,104	8,582,052
グッズ等売上収益		7,635,210		△ 487,208	7,148,002
図録販売収益	833,896	1,434,050		△ 833,896	1,434,050
講座受講料収益	169,000				169,000
特定資産運用収益	160	0	0		160
特定資産運用収益	160	0	0		160
受取補助金	0	0	3,800,000		3,800,000
受取地方公共団体補助金	0	0	3,800,000		3,800,000
受取負担金	3,000,000				3,000,000
受取利息	3,000,000				3,000,000
雑収益	367,484	42,623			410,107
受取利息	228	33			261
雑収益	367,256	42,590			409,846
経常収益計	55,826,813	9,111,883	3,800,000	△ 1,321,104	67,417,592
(2) 経常費用					
事業費					
給料手当	48,881,875	8,324,857		△ 1,321,104	55,885,628
任用雇賃金	2,263,723				2,263,723
退職給付費	15,008,492	1,904,534			16,913,026
福利厚生費	537,380	96,000			633,380
研修費	2,894,226	327,602			3,221,828
旅費交通費	277,230				277,230
通信運搬費	244,690				244,690
備品購入費	370,669				370,669
消耗品費	162,901				162,901
修繕費	1,592,012				1,592,012
印刷製本費	199,650				199,650
燃料費	2,357,885				2,357,885
光熱水料費	12,298				12,298
賃借料	5,164,099	90,261			5,254,360
貸借料	1,815,082				1,815,082
保険料	92,720				92,720
諸謝金	602,370				602,370
租税公課	2,520,370	370,700			2,891,070

科	目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
管理費	食糧費	47,178				47,178
	委託費	9,713,465	110,881			9,824,346
	広告宣伝費	1,145,100				1,145,100
	表彰費	487,208			△ 487,208	0
	手数料	29,689	175,362			205,051
	新聞図書費	90,296				90,296
	商品仕入費		5,108,564		△ 833,896	4,274,668
	減価償却費	1,172,896				1,172,896
	雑費	80,246	550			80,796
				3,852,766		3,852,766
				222,000		222,000
				1,213,157		1,213,157
				48,000		48,000
				191,494		191,494
				24,500		24,500
経常費用計	役員報酬			106,200		106,200
	任用雇賃金			94,352		94,352
	退職給付費			107,040		107,040
	福利厚生費			340,860		340,860
	旅費交通費			376,800		376,800
	通信運搬費			413,875		413,875
	消耗品費			2,150		2,150
	印刷製本費			480,518		480,518
	光熱水料費			72,000		72,000
	賃借料			133,320		133,320
	報酬			26,500		26,500
	租税公課			3,852,766	△ 1,321,104	59,738,394
	委託費			△ 52,766	0	7,679,198
	支払負担金			△ 52,766	0	7,679,198
	手数料					
	雑費					
2. 経常外増減の部						
II 指定正味財産増減の部	当期経常増減額	48,881,875	8,324,857			
	評価損益等調整前当期経常増減額	6,944,938	787,026			
	当期経常増減額	6,944,938	787,026			
	当期経常外増減額					
	他会計振替前当期一般正味財産増減額	6,944,938	787,026	△ 52,766	0	7,679,198
	他会計振替額	308,643	△ 308,643	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	7,253,581	478,383	△ 52,766	0	7,679,198
	一般正味財産期首残高					57,484,791
	一般正味財産期末残高					65,163,989
	基本財産評価損益等					
	当期指定正味財産増減額	△ 2,078,800	0	0	0	△ 2,078,800
	指定正味財産期首残高	△ 2,078,800	0	0	0	△ 2,078,800
	指定正味財産期末残高					106,190,500
	正味財産期末残高					104,111,700
						169,275,689

財務諸表に対する注記

1 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券

①時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法について

貯蔵品・・・・・・・・・・最終仕入原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却について

什器備品・・・・・・・・・・定率法による減価償却を実施している。

ソフトウェア・・・・・・・・・・定額法による減価償却を実施している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3 会計方針の変更

該当なし。

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
第32回東京都公募公債	105,660,500	0	2,078,800	103,581,700
美術作品	21,609,164	0	0	21,609,164
特定資産				
美術作品取得資金	9,500,000	1,500,000	0	11,000,000
合 計	136,769,664	1,500,000	2,078,800	136,190,864

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産か らの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
第32回東京都公募公債	103,581,700	103,581,700	0	0
美術作品	21,609,164	530,000	21,079,164	0
特定資産				
美術作品取得資金	11,000,000	0	11,000,000	0
合 計	136,190,864	104,111,700	32,079,164	0

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	11,449,006	9,957,915	1,491,091
ソフトウェア	4,640,280	4,190,280	450,000
合 計	16,089,286	14,148,195	1,941,091

7 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当事項なし。

8 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

	交付者	前期末残	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
中山道広重美術館事業	恵那市	0	3,800,000	3,800,000	0	
合 計		0	3,800,000	3,800,000	0	

9 金融商品の状況

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の一部を運用益によって賄うため、債券により資産運用をする。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

金融商品の内容は、債券であり、発行体の信用リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

①会計処理規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の会計処理規程に基づき行う。

②信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

10 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当事項なし。

11 関連当事者との取引の内容
該当事項なし。

12 重要な後発事象
該当事項なし。

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記「4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載。

2 引当金の明細

引当金は計上していない。

その他の固定資産明細書

什器備品

(単位：円)

品名 取得年月日	取得価額	期首 残高	当期 増加額	当期減価償 却額	減価償却 累計額	差引期末残高
網戸 H13. 7. 10	262,500	1	0	0	262,499	1
もぎりテーブル H13. 9. 14	343,140	1	0	0	343,139	1
展示用可動壁 H13. 9. 17	1,793,085	1	0	0	1,793,084	1
展示用可動壁 H14. 5. 17	557,613	1	0	0	557,612	1
展示用可動壁 H15. 4. 7	281,400	1	0	0	281,399	1
展示用可動壁 H15. 12. 1	924,000	1	0	0	923,999	1
学芸用パソコン H26. 12. 14	223,560	1	0	0	223,559	1
スキャナー H28. 2. 18	364,716	1	0	0	364,715	1
講座室エアコン H28. 6. 15	572,400	1	0	0	572,399	1
デジタルプリンター H29. 2. 17	779,112	1	0	0	779,111	1
ビジネスホン H29. 5. 22	459,000	31,417	0	31,416	458,999	1
ブラインド H30. 9. 18	137,916	1	0	0	137,915	1
レジスター H30. 10. 7	137,916	11,916	0	11,915	137,915	1
タッチテーブル H30. 12. 27	486,000	1	0	0	485,999	1
HMDスタンド 1 H30. 12. 27	194,400	104,975	0	13,961	103,386	91,014
HMDスタンド 2 H30. 12. 27	194,400	104,975	0	13,961	103,386	91,014
ナビルーム彫師PC H30. 12. 27	140,400	1	0	0	140,399	1
ナビルームAR用PC H30. 12. 27	132,840	1	0	0	132,839	1
大判プリンター H31. 3. 29	524,858	54,796	0	54,795	524,857	1
駅前看板 R2. 4. 22	415,800	1	0	0	415,799	1
映像投影機 R2. 11. 10	1,320,000	443,520	0	177,408	1,053,888	266,112
パソコン（デザイナー用） R4. 3. 25	101,970	48,861	0	24,430	77,539	24,431
パソコン（事務用） R4. 3. 30	109,780	52,603	0	26,301	83,478	26,302
スタンド式展示ケース R6. 3. 30	992,200	0	992,200	0	0	992,200
合 計	11,449,006	853,078	992,200	354,187	9,957,915	1,491,091

ソフトウェア

(単位：円)

品名 取得年月日	取得価額	期首 残高	当期 増加額	当期減価償 却額	減価償却 累計額	差引期末残高
ナビルーム彫師用ソフト H30. 12. 27	855,798	114,109	0	114,109	855,798	0
ナビルームAR用ソフト H30. 12. 27	784,482	104,600	0	104,600	784,482	0
情報ギャラリー映像ソフト R2. 1. 28	3,000,000	1,050,000	0	600,000	2,550,000	450,000
合 計	4,640,280	1,268,709	0	818,709	4,190,280	450,000

固定資産合計

(単位：円)

品名 取得年月日	取得価額	期首 残高	当期 増加額	当期減価償 却額	減価償却 累計額	差引期末残高
什器備品	11,449,006	853,078	992,200	354,187	9,957,915	1,491,091
ソフトウェア	4,640,280	1,268,709	0	818,709	4,190,280	450,000
合 計	16,089,286	2,121,787	992,200	1,172,896	14,148,195	1,941,091

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手許保管	運転資金の用に供している	161,500
現金預金	現金預金	運転資金の用に供している	80,161
預金	普通預金(十六)	運転資金の用に供している	28,851,242
未収金		公益目的事業 事業の未収入金 収益事業 事業の未収入金	500,021
貯蔵品	図録、パンフレット 販売用商品	公益目的事業 事業の貯蔵品 収益事業 販売用商品	10,005,147
流動資産合計			39,598,071
(固定資産)			
基本財産			
債券	第32回 東京公募公債 野村証券岐阜支店	公益目的保有財産であり公益目的事業の財源として使用している	103,581,700
美術作品	美術作品 (購入)	公益目的保有財産であり公益目的事業に供している不可欠特定財産である	21,079,164
	美術作品 (受贈)	交付者の定めた使途に従い使用・保有している財産(公益)	530,000
基本財産合計			125,190,864
特定資産 美術作品取得資金	普通預金(十六) 定期預金(十六)	美術作品の取得資金として積み立てている資産であり、資産取得資金として管理している	1,500,000 9,500,000
特定資産合計			11,000,000
その他固定資産			
什器備品	展示用可動壁等	公益目的保有財産として使用している	1,491,091
ソフトウェア	情報ギャラリー映像ソフト	公益目的保有財産として使用している	450,000
その他固定資産合計			1,941,091
固定資産合計			138,131,955
資産合計			177,730,026
(流動負債)			
未払金		各会計区分における費用の未払金、未払消費税 指定管理料返還金	3,714,160 1,366,000
預り金		所得税、雇用保険料、社会保険料、市県民税	374,177
前受金		スポンサー負担金(6社・翌期分)	3,000,000
流動負債合計			8,454,337
負債合計			8,454,337
正味財産			169,275,689

監 査 報 告 書

公益財団法人中山道広重美術館

理事長 長 谷 川 佳 子 様

令和6年5月10日

公益財団法人中山道広重美術館

監事 柘 植 麻 美 ⑩

監事 村 松 光 則 ⑩

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度における会計及び業務について、定款第25条の規定に基づき監査を行い、下記のとおり報告します。

1 監査方法及びその内容

- (1) 私たち監事は、理事及び事務局から業務の報告を受け、関係書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係わる事業報告について検討しました。
- (2) 私たち監事は、会計帳簿並びに関係書類の調査を行い、当該事業年度に係わる計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書について監査を実施いたしました。

2 監査結果

- (1) 計算書類及びその附属明細書、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を適正に表示していると認めます。
- (2) 事業報告及びその附属明細書の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

令和6年度

事業計画及び予算書

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

公益財団法人 中山道広重美術館

令和 6 年度 中山道広重美術館事業計画

中山道広重美術館は、開館 23 年を迎えるとともに、当公益財団法人が恵那市から指定管理業務を受託して 10 年目を迎える。令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが 5 類へ移行したことを受けて政府の感染対策が緩和され、インフルエンザを含めた感染者の外出自粛や基本的な感染対策は必要なものの、これまでの日常が戻ってきたことを実感した 1 年であった。

当館では、スポンサー 3 社に入館料をご負担いただき、金曜日の入館料を無料とするフリーライダーが 7 期目を迎え、さらに、水曜日が入館無料のフリーウエンスデーも 2 期目となり、令和 4 年度を上回る入館者をお迎えすることができた。令和 6 年度は、令和 5 年度に引き続き、社会情勢によるエネルギー料金と諸物価の高騰による厳しい財政事情の中ではあるが、あらためて全国的に数少ない浮世絵専門美術館としての使命を果たし、来館者により大きな感動と満足感を持ち帰っていただけるよう努めなければならない。

そのため、令和 6 年度の展示事業では、春季特別企画展と秋季特別企画展及び溪斎英泉・歌川広重による「木曾海道六拾九次之内」を日本橋から大津宿までそろいで出陳する特別展観を中心に据える。

春季特別企画展は「没後 160 年記念 三代歌川豊国－「人物」と「街道」を描く」である。三代歌川豊国（初代国貞）は、江戸時代末期に最も人気を博した浮世絵師で、役者絵をはじめ、美人画や名所絵など幅広い画題で筆をふるった。広重と深い親交があったことでも知られ、合作シリーズも手掛けている。本展では、街道物を中心に三代豊国の画業を紹介する。次に、秋季特別企画展「浮世絵おじさんフェスティバル」では、歌川広重を中心とした浮世絵師たちが描いた個性豊かな「おじさん」たちを紹介し、見れば見るほど面白い浮世絵の知られざる“沼”へ鑑賞者を案内する。

また、各企画展では、シリーズや作者にこだわらない展示テーマを設定し、浮世絵鑑賞の多様な楽しみ方を提示する。

教育普及事業では、連続講座を「黄金期の浮世絵出版界」と題し、江戸町人文化の隆盛と共に役者絵や美人画などの浮世絵版画が目覚ましく発展した天明・寛政期（1781-1801）を代表する版元や浮世絵師を全 6 回取り上げ、えりすぐりの講師陣による解説で、華やかに展開した浮世絵黄金期への理解を深める。また、将来の学芸員を育成するための実習生の受け入れを続けるとともに、第 21 回広重賞こども版画コンクールを開催し、希望する学校へは、作品制作を補助するための講師を派遣する。

平成 29 年 10 月にスタートした企業からの金銭的支援を得て観覧料を無料とする「美術館スポンサー制度」では、引き続き制度の P R に取り組むとともに、現 6 社のスポンサーによる毎週水曜日（フリーウエンスデー）と金曜日（フリーライダー）の終日観覧無料により、浮世絵作品を市民や旅行者に気軽に鑑賞してもらえる環境の輪が広がることを期待している。

以上、開館 23 年目を迎え、これまで取り組んできた活動の実績を一つ一つ大切にしながら、浮世絵専門美術館としての役割をさらに高めていきたい。

1. 公益目的事業
展示

	区分	事業名	開催期間	事業概要
1	春季 特別企画展	没後160年記念 三代歌川豊国－「人物」と「街道」を描く	前期 4月4日(木)～ 5月6日(月・祝) 後期 5月10日(金)～ 6月16日(日)	三代歌川豊国(初代国貞)は、江戸時代末期に最も人気を博した浮世絵師で役者絵をはじめ、美人画や名所絵など幅広い画題で筆をふるった。広重と深い親交があったことでも知られ、合作シリーズも手掛けている。本展では、街道物を中心に三代豊国の画業を紹介する。
2	企画展	浮世絵グルメツアー	6月20(木)～ 7月21日(日)	旅の楽しみといえば名所に土産物、そして美味しいご当地グルメ。江戸から諸国まで、浮世絵を通じた全国のご当地グルメツアーへ案内する。
3	企画展	浮世絵鑑賞のすすめ	7月25日(木)～ 8月25日(日)	「そもそも浮世絵って何？」という基本から、浮世絵を楽しむヒントまで紹介する。
4	特別展観	溪斎英泉・歌川広重 木曾海道六拾九次之内	8月29日(木)～ 9月29日(日)	当館が世界に誇る「木曾海道六拾九次之内」を揃いで出陳する年に一度の展覧会。京から江戸の道のりや名所名物を紹介する地誌『木曾路名所図会』を読み解きながら浮世絵を通じた中山道の旅を紹介する。さらに、ふるさとえな応援寄付金により、令和5年度に新規収蔵した広重晩年の名作「木曾路之山川」をお披露目する。

	区分	事業名	開催期間	事業概要
5	秋季 特別企画展	浮世絵おじさん フェスティバル	前期 10月3日(木)～ 11月4日(月・祝) 後期 11月8日(金)～ 12月8日(日)	浮世絵に登場する味わい深い名もなき人々を、当館では親しみを込めて「おじさん」と呼び、展覧会やグッズを展開してきた。今回は、歌川広重を中心とした浮世絵師たちが描いた個性豊かな「おじさん」たちを紹介し、見れば見るほど面白い浮世絵の知られざる“沼”へ案内する。
6	企画展	“もっと”愛でたい 富士山	12月12日(木) ～令和7年1月 19日(日)	江戸庶民の信仰対象とされた霊峰・富士山。季節や天候によりさまざまな表情を見せるその姿は、多くの人を魅了した。新年の寿ぎにふさわしく、思わず愛でたくなるような目出度い富士山の姿を紹介する。
7	企画展	狂歌とめぐる東海 道	1月23日(木)～ 2月24日(月・祝)	機知に富んでクスッと笑える狂歌と共に、のびやかな風景描写を魅力とする「東海道五拾三次」(通称、狂歌入東海道)を、江戸から京までそろいで紹介する。
8	企画展	江戸名所ガイドブ ック	2月28日(金)～ 3月30日(日)	歌川広重が手掛けた『絵本江戸土産』と名所絵から、江戸の観光スポットを紹介する。

教育・普及・調査研究等

	区分	事業名	開催時期	事業概要
1	連続講座	黄金期の浮世絵出版界	① 4月13日(土) ② 5月11日(土) ③ 6月8日(土) ④ 9月7日(土) ⑤ 10月5日(土) ⑥ 11月9日(土)	① 池田 芙美 氏 「蔦屋重三郎 江戸の文化プロデューサー」 ② 山本 ゆかり 氏 「喜多川歌麿を味わう」 ③ 渡邊 晃 氏 「勝川春章と歌川豊国 役者絵の発展」 ④ 田辺 昌子 氏 「江戸のヴィーナス 鳥居清長の美人画」 ⑤ 日野原 健司 氏 「葛飾北斎 知られざる顔」 ⑥ 浅野 秀剛 氏 「東洲斎写楽研究の現状」
2	研修受け入れ事業	学芸員実習 職場体験	随時	大学を通じて希望する学生を対象とした学芸員実習、高校生のインターンシップ、中学生の職場体験を受け入れる。
3	市商店街振興組合連携事業	ミュージアム ナイト(午後8時まで無料開館)	8月中旬	市商店街振興組合による恵那中心街の夏の夜を彩る「恵那納涼夏祭り」と盆踊りの夕べ」と連携し、入場無料と夜間開館を実施する。

4	版画公募展	第21回広重賞こども版画コンクール 応援講師派遣事業	7月～3月	市内の子どもたちが、自分たちの生まれ育ったふるさとの景色や身近な人々との関わりを見つめ、発見したことや感じたことを版画にすることで作品を創り出す楽しさを体験し、自己を表現する喜びや作品をつくり出す楽しさを体験させることを目的に開催。 希望する各学校へこども版画制作をサポートするための応援講師の派遣も行う。
5	市のふるさと応援寄付金を活用した美術作品購入基金等による作品購入調査。 令和7年度の特別企画展開催に向けての展示作品の調査、研究及び資料収集。 令和7年度に向けた展覧会の企画構想に関する調査、研究。			
6	日本美術技術博物館マンガなど、国内外の美術館、博物館との情報共有や情報交換を通じた連携と交流。			

2. 収益事業

(1) ミュージアムショップの運営

- ・ネットショップの運営拡大
- ・当館オリジナルグッズの企画・販売
- ・美術関連商品の企画・販売
- ・展覧会関係グッズ、図録の販売

3. 管理事業

(1) 法人の運営

(2) 理事会、評議員会の運営

(3) 美術館施設・設備及び収蔵美術品の適正な管理

公益財団法人中山道広重美術館 令和6年度予算書 (損益ベース)

(単位:円)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

科	目	本年度予算額	前年度予算額 3月補正	比較増減	説 明
I	一般正味財産増減の部				
1	経常増減の部				
1	経常収益				
	1.基本財産運用益	67,000,000	65,566,000	1,434,000	
	基本財産受取利息	1,293,000	1,293,000	0	
	基本財産受取利息	1,293,000	1,293,000	0	
2	事業収益	58,865,000	57,436,000	1,429,000	
	指定管理事業収益	45,800,000	47,166,000	△ 1,366,000	恵那市指定管理料、3月補正
	観覧料収益	4,623,000	4,216,000	407,000	観覧料 企画展520(420) 特別展820(660) 有料46% 6,900人/15,000人
	美術品撮影料等収益	200,000	200,000	0	作品画像等利用料
	教育普及事業収益	170,000	160,000	10,000	
	講座受講料収益	170,000	160,000	10,000	講座受講料(4,000×40名)等
	ショップ販売事業収益	8,072,000	5,694,000	2,378,000	
	グッズ等売上収益	6,552,000	4,342,000	2,210,000	
	図録販売収益	1,520,000	1,352,000	168,000	「木曾街道三種揃路」図録ほか
3	特定資産運用収益	1,000	1,000	0	
	特定資産利息	1,000	1,000	0	
4	受取補助金等	3,800,000	3,800,000	0	
	受取地方公共団体補助金	3,800,000	3,800,000	0	恵那市支援補助金
5	受取負担金	3,000,000	3,000,000	0	
	受取負担金	3,000,000	3,000,000	0	スポンサー負担金(6社×50万円)
6	受取寄附金	0	0	0	
	受取寄附金	0	0	0	
	受取寄附金振替額	0	0	0	
7	雑収益	41,000	36,000	5,000	
	受取利息	1,000	1,000	0	
	雑収益	40,000	35,000	5,000	講座室使用料、ジョイセブン関係ほか
	経常収益計	67,000,000	65,566,000	1,434,000	

科	目	本年度予算額	前年度予算額 3月補正	比較増減	説 明
2.経常費用					
1.事業費		63,756,000	61,411,000	2,345,000	
公益目的事業費		55,884,000	56,001,000	△ 117,000	
給料手当		4,093,000	3,540,000	553,000	R5. 8～ 職員(学芸係長) 給料、諸手当
任用雇賃金		14,600,000	14,680,000	△ 80,000	
任用給		10,600,000	10,680,000	△ 80,000	嘱託職員4.5人分 報酬・諸手当
臨時給		4,000,000	4,000,000	0	臨時職員2人賃金・諸手当
退職給付費		552,000	544,000	8,000	学芸係長1人分10,000円×12月、嘱託職員4.5人分96,000円×12月
福利厚生費		3,117,000	2,859,000	258,000	全職員7.5人分
研修費		100,000	200,000	△ 100,000	友の会研修バス借上料
旅費交通費		360,000	360,000	0	連続講座・講演会講師旅費30,000円×7名=210,000円、展覧会関連イベント講師旅費25,000円×2回=50,000円、作品借用打ち合わせ・浮世絵学会等研修会参加旅費100,000円
通信運搬費		700,000	700,000	0	展覧会案内送料(ポスター・チラシ)、電話代、送料等
減価償却費		750,000	1,260,000	△ 510,000	新学習映像投影機及びソフト、ガラス展示ケース
備品購入費		100,000	100,000	0	事務用備品更新等
消耗品費		1,350,000	1,470,000	△ 120,000	プリンター用ロール紙等400,000円、展示・イベント用資材100,000円、版画コンクール50,000円、版画コンクール参加費等550,000円、デジタルプリンター消耗品40,000円、摺り体験用インクその他20,000円等
食糧費		50,000	50,000	0	連続講座講師食事代、会議飲料等
修繕費		1,000,000	1,000,000	0	展示室、収蔵庫室内空調機メンテナンス、展示室フラット屏メンテナンス等
印刷製本費		2,403,000	1,800,000	603,000	図録印刷(東海道)、ポスター・チラシ・観覧券等(年間案内、企画展5回、特別企画展)、講座、講演会、こども版画コンクール等
燃料費		10,000	10,000	0	ポスター・チラシ配布、展示打ち合わせ、作品借用時等の借上車燃料代
光熱水料費		12,420,000	10,641,000	1,779,000	【使用割合案分(92%)による】
賃借料		2,550,000	2,000,000	550,000	I B ミュージアム使用料396,000円、サーバー・画像ソフト使用料、コピー機使用料(ゼロックス)、マット・モップ、美術館アプリ、水平駐車場看板使用料、秋季特別企画展作品借り上げ料550,000円
保険料		70,000	60,000	10,000	全国市有物件建物損害共済27,223円、ボランティア/搬送保険32,000円、秋特借り上げ作品保険料
諸謝金		631,000	639,000	△ 8,000	連続講座講師6名×50,000円=300,000円、秋特イベント講師謝礼50,000円、版画コンクール審査委員謝礼(委員15名×4回×3,000円)180,000円、派遣講師謝礼3,000円×15回=45,000円
租税公課		2,200,000	2,200,000	0	消費税、法人市民税(国)(県)(市)、事業税他

科	目	本年度予算額	前年度予算額 3月補正	比較増減	説 明
	委託費	7,228,000	10,188,000	△ 2,960,000	施設管理委託4,600,000円【案分92%】、清掃委託700,000円【案分92%】、IP保守委託料180,000円、車内広告委託(JR中央線・駅貼り等)700,000円、シルバー監視56日分337,000円、借用作品マット装丁業務320,000円、秋特借り上げ作品梱包輸送業務320,000円
	広告宣伝費	1,500,000	1,600,000	△ 100,000	駅西駐車場懸垂幕(5,500円×10回)55,000円、水半駐車場看板200,000円、新聞・雑誌広告1,000,000円等
	手数料	40,000	40,000	0	振込等手数料
	新聞図書費	30,000	30,000	0	新聞、浮世絵関係専門書購入等
	雑費	30,000	30,000	0	連続講座講師手土産等
	収益事業費	7,872,000	5,410,000	2,462,000	ミュージアムショップ運営事業
	任用雇賃金	2,240,000	2,230,000	10,000	
	任用給	2,240,000	2,230,000	10,000	嘱託職員(宮下)1人分報酬・手当
	退職給付費	96,000	96,000	0	嘱託職員1人分 8,000円×12月=96,000円
	福利厚生費	416,000	382,000	34,000	全職員1.0人分
	旅費交通費	0	0	0	
	通信運搬費	158,000	70,000	88,000	
	消耗品費	10,000	0	10,000	
	印刷製本費	0	0	0	
	光熱水料費	270,000	186,000	84,000	【使用割合案分2%】
	租税公課	340,000	340,000	0	消費税、法人市民税(国)(県)(市)、事業税他
	委託費	80,000	80,000	0	施設管理委託料、清掃委託料【使用割合案分2%】
	手数料	160,000	110,000	50,000	振込等手数料
	商品仕入費	4,097,000	1,911,000	2,186,000	
	雑費	5,000	5,000	0	
2.管理費		4,244,000	4,155,000	54,000	財団法人組織運営事業
	役員報酬	220,000	220,000	0	理事12名+評議員11名+監事1名×3,000円×3回=207,000円、役員会議他13,000円
	任用雇賃金	1,230,000	1,280,000	△ 50,000	
	任用給	1,230,000	1,280,000	△ 50,000	嘱託職員0.5人分 報酬・手当
	退職給付費	48,000	48,000	0	嘱託職員0.5人分 8,000円×6月
	福利厚生費	208,000	191,000	17,000	全職員0.5人分
	職員研修費	30,000	40,000	△ 10,000	職員研修経費

科	目	本年度予算額	前年度予算額 3月補正	比較増減	説	明
	旅費交通費	10,000	10,000	0		
	通信運搬費	40,000	40,000	0	電話、郵便、受信料等	
	消耗品費	30,000	40,000	△ 10,000		
	食糧費	10,000	0	10,000		
	印刷製本費	40,000	40,000	0		
	燃料費	5,000	5,000	0		
	光熱水料費	810,000	703,000	107,000	【使用割合案分6%による】	
	賃借料	470,000	470,000	0	会計システムリース料20,000円×12月=264,000円、給与システム10,000円×12月=132,000円、マイナンバー保管料4,800円×12月=63,360円	
	報酬	370,000	370,000	0	法人登記、法人税申告、法人運営指導料264,000円等	
	租税公課	7,000	7,000	0	印紙等(指定管理用印紙)	
	支払負担金	80,000	80,000	0	美術館関係団体負担金	
	委託費	461,000	461,000	0	施設管理委託303,000円、清掃委託料46,000円【案分6%】等	
	手数料	150,000	150,000	0	ネットバンキング・振込等手数料	
	雑費	25,000	0	25,000		
	経常費用計	68,000,000	65,566,000	2,434,000		
	当期経常増減額	△ 1,000,000	0	△ 1,000,000	前年度当初△2,800,000	
	他会計振替額					
	当期一般正味財産増減額	△ 1,000,000	0	△ 1,000,000		
	一般正味財産期首残高	57,484,791	57,484,791	0		
	一般正味財産期末残高	56,484,791	57,484,791	△ 1,000,000		
Ⅱ	指定正味財産増減の部					
	一般正味財産への振替額	0	0	0		
	当期指定正味財産増減額	0	0	0		
	指定正味財産期首残高	106,190,500	106,190,500	0		
	指定正味財産期末残高	106,190,500	106,190,500	0		
Ⅲ	正味財産期末残高	162,675,291	163,675,291	△ 1,000,000		

公益財団法人中山道広重美術館 令和6年度予算書内訳表

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
1. 経常収益					
1. 基本財産運用益					
基本財産受取利息	55,828,000				55,828,000
2. 事業収益					
指定管理事業収益	1,293,000				1,293,000
観覧料収益	1,293,000				1,293,000
美術品撮影料等収益	51,493,000				51,493,000
図録販売収益	45,800,000				45,800,000
教育普及事業収益	4,623,000				4,623,000
グッズ等売上収益	200,000				200,000
図録販売収益	700,000				700,000
3. 特定資産運用収益	170,000				170,000
特定資産利息					
4. 受取補助金等					
受取地方公共団体補助金					
5. 受取負担金等					
受取負担金	8,572,000				8,572,000
6. 受取寄附金	7,052,000				7,052,000
受取寄附金	1,520,000				1,520,000
受取寄附金振替額	1,000				1,000
受取寄附金	1,000				1,000
7. 雑収益					
受取利息	3,000,000				3,000,000
雑収益	3,000,000				3,000,000
経常収益計	0				0
2. 経常費用					
1. 事業費					
給料手当	0				0
任用雇賃金	0				0
退職給付費	0				0
福利厚生費	41,000				41,000
研修費	1,000				1,000
旅費交通費	40,000				40,000
通信運搬費					
減価償却費	56,384,000				56,384,000
備品購入費	4,093,000				4,093,000
消耗品費	14,600,000				14,600,000
食糧費	552,000				552,000
修繕費	3,117,000				3,117,000
印刷製本費	100,000				100,000
	360,000				360,000
	700,000				700,000
	750,000				750,000
	100,000				100,000
	1,350,000				1,350,000
	50,000				50,000
	1,000,000				1,000,000
	2,403,000				2,403,000
経常費用計	8,572,000				8,572,000
1. 事業費					
給料手当					
任用雇賃金					
退職給付費					
福利厚生費					
研修費					
旅費交通費					
通信運搬費					
減価償却費					
備品購入費					
消耗品費					
食糧費					
修繕費					
印刷製本費					

科	目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
	燃料費	10,000				10,000
	光熱水料費	12,420,000	270,000			12,690,000
	賃借料	2,550,000				2,550,000
	保険料	70,000				70,000
	諸謝金	631,000				631,000
	租税公課	2,200,000	340,000			2,540,000
	委託費	7,228,000	80,000			7,308,000
	広告宣伝費	1,500,000				1,500,000
	表彰費	500,000			△ 500,000	0
	手数料	40,000	160,000			200,000
	新聞図書費	30,000				30,000
	商品仕入費		4,797,000		△ 700,000	4,097,000
	雑費	30,000	5,000			35,000
2.管理費				4,244,000		4,244,000
	役員報酬			220,000		220,000
	任用雇賃金			1,230,000		1,230,000
	退職給付費			48,000		48,000
	福利厚生費			208,000		208,000
	職員研修費			30,000		30,000
	旅費交通費			10,000		10,000
	通信運搬費			40,000		40,000
	消耗品費			30,000		30,000
	食糧費			10,000		10,000
	印刷製本費			40,000		40,000
	燃料費			5,000		5,000
	光熱水料費			810,000		810,000
	賃借料			470,000		470,000
	報酬			370,000		370,000
	租税公課			7,000		7,000
	支払負担金			80,000		80,000
	委託費			461,000		461,000
	手数料			150,000		150,000
	雑費			25,000		25,000
	経常費用計	56,384,000	8,572,000	4,244,000	△ 1,200,000	68,000,000
	当期経常増減額	△ 556,000	0	△ 444,000	0	△ 1,000,000
	他会計振替額					
	当期一般正味財産増減額	△ 556,000	0	△ 444,000	0	△ 1,000,000
	一般正味財産期首残高					57,484,791
	一般正味財産期末残高					56,484,791
II	指定正味財産増減の部					
	一般正味財産への振替額					
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
	指定正味財産期首残高					106,190,500
	指定正味財産期末残高					106,190,500
III	正味財産期末残高					162,675,291

